

受注後生産

スクリーンインキ

反応型インキ

一般印刷 | 二液反応型

APGインキ

特に屋外で使用され耐候性・耐久性が要求される用途向に開発したアクリルウレタン樹脂系の高性能二液反応型インキです。

製品の特長

- 最高級顔料の使用により、耐候性が優秀です。
- 光沢が良好です。
- 耐アルコール、耐ガソリン性等の耐薬品性が優れています。

耐性

耐薬品性

耐溶剤性

耐アルコール性

耐ガソリン性

物理的耐性

耐久性

耐候性

推奨被印刷物

材質

エンジニアリングプラスチック

変性ポリフェニレンエーテル [PPO・PPE]

耐熱性エンプラ

塗装面

塗装金属

アクリル塗装金属

熱硬化性アクリル塗装鋼板

ポリウレタン塗装金属

ポリウレタン塗装鋼板

金属、ガラス、セラミック、ハードコート処理面

金属素地

メッキ面

金属メッキ面

熱硬化性樹脂

ハードコート処理面

ハードコートプラスチック

仕上り・質感・見た目の効果

仕上り

グロス

カラー・グレード

標準色（一般色）

00メジウム | 01白 | 16ピンク | 25紫 | 28オレンジ | 45濃藍 | 46藍 | 75グリーン

標準色（耐候色）

13青黄 | 14赤黄 | 18紅 | 38赤

スペック

荷姿

1kgインキ缶

使用方法

- インキ100部に対し、硬化剤JA-950を10部、希釈溶剤を5~20部添加し、よく攪拌してから印刷します。
- 希釈溶剤は、テトロン溶剤（標準、遅乾、リターダー）をご使用ください。
またPC溶剤も使用できます。
- 可使時間（ポットライフ）は6~12時間（25°C）です。

刷版

版の種類	洗浄
写真版	ビニール洗用溶剤

硬化方法・硬化条件

- 印刷後、常温にて速やかに乾燥します。
- 接着性と耐候性を付与するためには焼き付けが必要です。
焼き付けは120°C15分以上の条件で行ってください。
塗膜性能は焼き付け条件により異なります。

試験データ（環境・物性・耐候性・性能など）

条件	
基材	熱硬化性アクリル塗装鋼板
インキ	APG紅
焼き付け	120°C15分

結果

試験項目	試験方法	結果
接着性	クロスカットセロテープ剥離試験	100/100 合格
塗膜硬度	JIS K5400 8.4 鉛筆引掻試験	3H~4H
耐衝撃性	JIS K5400 8.3.2 デュポン式衝撃試験 φ1/2インチ、500g、20cm	塗膜の割れ、剥離なし
耐溶剤性	ラッカーシンナーラビング試験 MIBK：酢エチ：トルエン = 1：1：1	25回
	キシレンラビング試験	50回以上
	メタノールラビング試験	100回以上
	ガソリン 1時間浸漬	異状なし
耐摩耗性	学振式摩耗試験器乾布にて1000回	異状なし
耐熱性	JIS K5400 8.13、180°C30分	異状なし
耐寒性	-30°C、48時間	異状なし
耐水性	JIS K5400 8.19、40°C水中 14日間	異状なし
耐湿性	湿度95%以上、50°C、14日間	異状なし
耐沸騰水性	沸騰水、1時間	異状なし
耐洗剤性	ママレモン [ライオン製] 5%液 24時間浸漬	異状なし
耐油性	モーターオイル [ホンダ ウルトラS] 24時間浸漬	異状なし
耐クリーナー性	マジックリン [花王製] 6時間浸漬	異状なし
耐アルカリ性	5%NaOH 6時間浸漬	異状なし
耐酸性	5%H ₂ SO ₄ 6時間浸漬	異状なし
耐塩水性	5%塩水 14日間浸漬	異状なし
耐候性	サンシャイン・ウェザ・オ・メーター 1000時間	異状なし

耐候性一覧

等級	色名
7	白
7-8	青黄 赤黄 オレンジ 赤 紅 ピンク 紫
8	濃藍 藍 グリーン 黒 メジウム

- 浸漬試験は室温にて実施しました。
- 塗装鋼板の種類により上表とは異なる結果になることもあります。
- インキをメジウムや白インキで薄めて印刷すると、原色の場合よりも耐候性が大幅に低下します。

注意事項

- 硬化剤は湿気と反応して硬化するため、容器は常に蓋をしてください。
保管の際には密栓して冷暗所に保管してください。
- 耐候性が要求されない用途には、同系列の「2000シリーズAPインキ」やエポキシ系の「1000シリーズエピライトインキ」が使用可能です。
- 最高級顔料使用色のみを設定した関係で、黄、金赤、浅葱、群青などが標準色に含まれていません。
しかしこれらの色は簡単な調色で作成できますので、必要に応じて下記の配合をお試しください。
 - 黄 = 青黄90%+赤黄10%
 - 金赤 = オレンジ80%+赤20%
 - 浅葱 = 白70%+藍30%
 - 群青 = 濃藍80%+紫20%
- ご使用に際しての安全上の注意事項に関しては、製品の安全データシート（SDS）をご参照下さい。
- 当インフォメーションに記載されている内容は予告無しに変更・改訂する場合があります。
- この特性データは、弊社の実施した評価結果に基づくもので、お客さまのご使用時の製品特性を保証するものではありません。
- 使用の際は、実際に使用される装置及び被着材での評価結果に基づき、条件を十分ご検討の上、ご使用下さい。